

衆議院議長 殿 参議院議長 殿  
内閣総理大臣 殿 復興大臣 殿  
経済産業大臣 殿 環境大臣 殿  
原子力規制委員会委員長 殿

## 原発事故被害者に安心して健康に生きる権利と 知る権利の保障を

2011年3月11日の東日本大震災に端を発した東京電力福島第一原発事故。7年半以上たった今も事故はまだ続いており、私たちは長期にわたる未曾有の原発災害に直面しています。

被害は多岐にわたり複雑です。生業や生きがいの喪失、家族やコミュニティの分断、健康リスクと不安の増大、避難先での偏見やいじめ…。重ねて住宅提供等の公的支援終了が追い打ちをかけています。避難継続をしている人たちの中には孤独や孤立に悩み、経済的に困窮している人たちもいます。原発事故との因果関係は明らかにされていないものの、福島県県民健康調査によって甲状腺がんと診断され手術された子どもたちの数は162人となりました。2012年6月、全国会議員の賛成のもとに成立した「原発事故子ども・被災者支援法」に盛り込まれている多くの支援策は実現していません。また、原子力損害賠償紛争審査会による賠償指針は不十分であり、被ばくや汚染という被害の観点が抜け落ちています。

原子力規制委員会は、避難指示区域外のモニタリング・ポスト2400台を2020年度末までに撤去する方針を打ち出しました。しかし、これでは住民が身近な場所における空間線量率の変化を直接知ることができなくなります。放射性物質の拡散も進められようとしています。経済産業省や原子力規制委員会は、福島第一原発の敷地内のタンクにためられている1,000兆ベクレルものトリチウムに加え、複数の核種を含む多核種処理施設(ALPS)処理汚染水を海洋放出しようとしているのです。それに加えて環境省は、除染土を全国の公共事業や農地造成などに使う方針を打ち出しています。

こうした状況を踏まえ、私たちは、以下を要請します。

### 【請願項目】

1. 原発事故避難者の実態把握に基づく支援の実施を求めます。
2. 健診の福島県外への拡大、内容の充実、医療費の減免、子どもたちの保養のための措置を求めます。
3. モニタリング・ポストの継続設置を求めます。
4. ALPS汚染水の放出・汚染土の再利用による放射性物質の拡散をしないでください。

名 前	住 所
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県

※コピーや FAX は無効となります。住所は「〒」を使わず番地まですべてお書きください。国籍・年齢は問いません。

日本在住の方または日本国籍をお持ちの方であれば、どなたでも署名できます。

※個人情報事務局で適切に管理し、署名提出以外の目的では使用しません。

<中間集約先>	<最終集約先> 生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-24-20-6F TEL: 03-5285-1898
---------	---

<署名締切日> 2019年3月31日

署名呼びかけ団体: 原発事故被害者の救済を求める全国運動実行委員会(右頁をご覧ください。)

生活クラブは2013年、2015年、2016年の三度にわたり、「原発事故子ども・被災者支援法」の実施を求める請願署名に取り組み、原発事故子ども・被災者支援法の成立、賠償請求の時効延長（3年から10年に）という成果がありました。しかし政府は、避難者への無償住宅供与を打ち切り、甲状腺検査の対象範囲を拡大しようとしていません。また、放射能測定の規模縮小と汚染水・汚染土の拡散が新たな問題として浮上しています。原発事故被害者に安心して健康に生きる権利と知る権利の保障を守るための施策を講じるよう声を届けましょう。

サステイナブルなひと、  
**生活クラブ**

これまで署名した方も署名できます。第四期の請願運動にぜひご協力ください。

### 原発事故被害者の救済を求める全国運動（2018年12月現在）

#### □共同代表（五十音順）：

宇野朗子/福島市から京都府へ避難、佐藤和良/いわき市議会議員

#### □呼びかけ人（五十音順）：

青木一政（ちくりん舎）/雨宮処凛（作家・活動家）/飯田哲也（環境エネルギー政策研究所所長）/石田敦史（パルシステム生活協同組合連合会理事長）/井筒高雄（元陸上自衛隊レンジャー隊員）/井戸謙一（弁護士）/伊藤和子（NPO 法人ヒューマンライツ・ナウ事務局長）/稲葉剛（住まいの貧困に取り組むネットワーク世話人）/稲葉奈々子（移住労働者と連帯する全国ネットワーク）/上原公子（元国立市長・脱原発自治体首長の会 事務局長）/宇都宮健児（反貧困ネットワーク代表世話人）/大賀あや子（大熊町から新潟県へ避難）/大西連（認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事長）/奥田知志（NPO 法人抱樸代表）/岡野八代（同志社大学大学院教員）/小澤洋一（南相馬避難勧奨地域の会事務局長）/落合恵子（作家）/海渡雄一（脱原発弁護団全国連絡会共同代表・脱原発法制定全国ネットワーク事務局長）/片岡輝美（会津放射能情報センター）/加藤好一（生活クラブ事業連合生活協同組合連合会会長）/鎌田慧（ルポライター）/鎌仲ひとみ（映像作家）/亀山ののこ（写真家）/香山リカ（精神科医）/河合弘之（弁護士・脱原発弁護団全国連絡会共同代表）/河崎健一郎（福島の子もたちを守る法律家ネットワーク副代表）/神田香織（講師）/菅野みずえ（双葉郡浪江町から兵庫県へ避難）/栗田暢之（レスキューストックヤード代表理事）/郡司真弓（ステップハウス「共同の家プラン」代表）/河野康弘（ジャズピアニスト）/阪上武（福島老朽原発を考える会代表）/佐々木慶子（福島市在住）/佐藤健太（飯館村村議会議員）/佐野未来（ビッグイシュー）/穴戸隆子（福島から北海道に避難）/辛淑玉（「のりこえねっと」共同代表）/菅野美成子（伊達市在住）/鈴木絹江（ケアステーションゆうとびあ理事長）/瀬戸大作（避難の協同センター事務局長）/宗川吉汪（日本科学者会議「生命と医の倫理研究委員会」委員長）/高田健（許すな！憲法改悪・市民連絡会）/田中優（未来バンク代表）/津久井進（原発事故被災者支援兵庫弁護団副団長・日本弁護士連合会災害復興支援委員会委員長）/中手聖一（福島市から札幌市へ避難）/中山瑞穂（子ども全国ネット）/西郷南海子（原発いらないコドモデモ）/長谷川克己（郡山市から静岡へ避難）/伴英幸（原子力資料情報室共同代表）/福田健治（弁護士・福島の子もたちを守る法律家ネットワーク代表）/藤本泰成（フォーラム平和・人権・環境 事務局長）/蛇石郁子（郡山市議会議員）/丸山輝久（原発被災者弁護団弁護団長）/満田夏花（国際環境 NGO FoE Japan 理事）/武藤類子（福島原発告訴団団長）/守田敏也（フリーライター）/柳田真（たんぼ舎共同代表）/山口二郎（法政大学教授）/吉岡達也（ピースポート共同代表）/吉田千亜（フリーライター）/和田珠輝（マmareポ出版局）

#### □構成団体：

会津放射能情報センター/原子力資料情報室/「原発事故子ども・被災者支援法」推進自治体議員連盟/原発事故被害者団体連絡会（ひだんれん）/国際環境 NGO FoE Japan/生活協同組合コープ自然派脱原発ネットワーク/生活クラブ事業連合生活協同組合連合会/低線量汚染地域を考える会・喜多方/ハイロアクション福島/パルシステム生活協同組合連合会/ピースポート/避難の協同センター/ヒューマンライツ・ナウ/福島原発30キロ圏ひとの会/福島原発震災情報連絡センター/福島の子もたちを守る法律家ネットワーク（SAFLAN）/福島老朽原発を考える会（フクロウの会）

#### □賛同団体：

あいコープみやぎ/アジェンダ・プロジェクト/いわきの初期被曝を追及するママの会/NPO法人アウシュヴィッツ平和博物館/原発いらない福島の子もたち/原発を考える品川の子もたち/国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン/子どもたちに未来をわたしたい・大阪の会/子どもと未来を守る小金井会議/子ども未来・愛ネットワーク/生活協同組合コープ自然派京都/生活協同組合コープ自然派しこく/生活協同組合コープ自然派奈良/生活協同組合コープ自然派兵庫/生活協同組合コープ自然派おおさか/「さようなら原発 1000 万人アクション」実行委員会/3.11 ゆいネット京田辺/311を忘れない in 静岡/NPO法人市民環境研究所/生活協同組合パルシステム千葉/生活協同組合パルシステム東京/たんぼ舎/使い捨て時代を考える会/反貧困ネットワーク/「避難の権利」を求める全国避難者の会/ママデモ/緑ふくしま/美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会（美浜の会）/未来の福島こども基金

<問い合わせ先>生活クラブ連合会（担当：河合） tel. 03-5285-1898 fax.03-5285-1839

みなさまのご寄付が、「原発事故被害者の救済を求める全国運動」を支えます。ぜひご協力をお願いします。

※銀行から…【銀行名】ゆうちょ銀行

【口座名義】原発被害者救済全国運動（ゲンパツヒガインシャキョウサイゼンコクウンドウ）

【店名】〇一八（ゼロイチハチ） 【店番号】018 【預金種目】普通預金 【口座番号】7857978

※郵便局から 記号：10140 番号：78579781 口座名：原発被害者救済全国運動